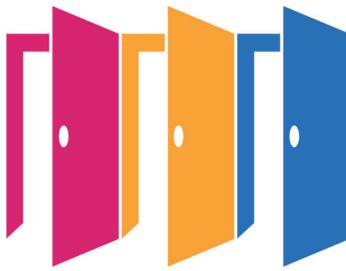


WEEKLY BULLETIN

# OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)  
 2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ  
 「ロータリーは機会の扉を開く」  
 (第2660地区ガバナー 簡 仁一)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
9月24日 (木) テーマ 「我がクラブの誕生から 現在までの想い出話」 卓話者 谷口 勉会員	10月1日 (木) テーマ 「自己紹介」 卓話者 川井宗次会員	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第10回例会 本日のプログラム

- 開会 (点鐘) 通算第2100回例会  
 • ロータリーソング 「四つのテスト」  
 • ソングリーダー 本間一成会員  
 • 来客紹介 友好委員

♪ 四つのテスト

- 真実かどうか  
 みんなに公平か  
 好意と友情を深めるか  
 みんなのためになるかどうか

## 会食

- 歌とピアノ 木下裕子
- 会長報告 川口栄計会長
- 幹事報告 福田 忠幹事
- 委員会報告 各委員長
- 出席報告 出席委員
- ニコニコ箱報告 S A A
- 卓話

## ニコニコ箱報告

前回の合計	¥ 75, 000
本日までの累計	¥ 788, 000 (78%達成)
9月末の予算額	¥ 1, 000, 000

## 出席報告

前回 9月17日	3週前 8月27日
会員総数 58名	出席免除を除く MUを含む
出席会員数 40名	修正出席率 67.30%
出席率 76%	

## 閉会 (点鐘)

大阪難波ロータリークラブ

創立 1976年8月5日

会長：川口栄計 幹事：福田 忠 会報・雑誌委員長：三島敏宏 事務局：安部亜希子

事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階

TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

例会日時 毎週木曜日 12:30

例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間

## 9月 入会記念日 おめでとうございます

9月 2日 川口栄計会員 平成22年	9月 3日 清水一人会員 平成27年
9月 5日 綱干康史会員 平成25年	9月 5日 米澤 勉会員 平成25年
9月12日 松田禎胤会員 平成25年	9月16日 林 博之会員 平成22年

## 会長経験者会

9月17日（木）会長経験者会が天王殿にて開催されました。会長経験者総数15名のうち10名と、会長、幹事、事務局が出席いたしました。



四天王寺悲田院より、感謝状をいただきました



会長経験者会議



懇親会

### 早栗義文 会員



平成10年(22年前)クリニックオープン時のスタッフと雑誌のがんばる社長の取材で仮面ライダーの宮内洋さんとの対談した時の写真です。

私はこのロータリークラブは友好であり、素晴らしい人脈の集団だと思います。共通の話題・楽しみ・悩みを持った仲間と語りうることは、大きなストレス発散になります。良いクラブは、良い先輩がないと作ることですが、きません。そんな大阪難波ロータリークラブに感謝しております。「ロータリアンには在籍の長短はあるが、上・下はない。」この言葉からも、たとえ小さなクラブでも世界二二〇万人のロータリアンと親睦を深めることができます。この様な考え方から自分自身も他会員との親睦を深めて見識を広げられたおかげで、今の自分があると思っています。そんな私のルーツを紹介します。約五

〇年前に苦労に苦労を重ねた母親を楽にさせてあげたい一心と、同級生で一番になることを目指して社会にでました。また、その頃に祖母から学んだ事が私の魂となりました。ながら忘れないのは、就職する日の朝食での一匹の尾頭付きのアジです。祖母曰く「こんな小さな魚しか用意できなかつたけど将来は絶対に頭にならなかんで」、この言葉が私の原点となり、「鶏口牛後」を誓いました。他にも祖母からは、「技術を身に付けると一生自身を助けてくれる」とこの言葉をもとに今の医療の道を志ました。おかげで今では、看護師は勿論、救急救命士・主任介護支援専門員・相談支援専門員・内視鏡技師・また、コロナで話題の人・人工呼吸器・人工心肺装置を扱う臨床工学技士など専門性の高い技術をたくさん身に付けました。

事業としては、在宅医療と通所リハビリテーション(ティケア)だけでなく、これからは、超高齢化社会を迎えるにあたって「看取り」を扱うターミナルケア(終末期医療)が重要になります。人生を卒業される方々のお手伝いにもっと力を入れていきたいと思います。

Rotary

世代を紡ぐ

Vol. 9  
「テーマ 普段の私」

インタビュー

### これからの予定

10月 1日 (木) 例会・定例理事会	10月 8日 (木) 例会
10月10日 (土) 地区公共イメージ向上並びにクラブビジョン策定セミナー	
10月15日 (木) 例会	10月17日 (土) クラブ社会奉仕委員長会議
10月17日 (土) クラブ国際奉仕委員長会議	10月17日(土)18日(日)道頓堀リバーフェスティバル
10月22日 (木) 例会・クラブ協議会	10月29日 (木) 例会

# 9月は「基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間」です

前回の記録 第9回例会 9月17日(木)

## ★来客紹介：東村友好委員

ゲストスピーカー  
ロータリーの友地区代表委員  
木村芳樹様



## ★会長報告：川口会長

1. こんにちは。9月27日例会の会長報告を行います。まず、本日は地区ロータリーの友代表委員として、大阪南RCの木村会長がお見えになっておられます。大変、ご多用の中お忙しい中、有り難うございます。有意義な卓話をよろしくお願ひします。
2. 本日の「ロータリアンの足跡」は、大阪RCのチャーターメンバーであります。言わずとも知れた阪急グループの小林一三氏であります。先週の樺山愛輔の義理の息子、白洲次郎と言い、まあ何とも男前な方です。テニスの松岡修造氏のお爺さんであります。そう言えばどことなく風貌が似ているようにも思われます。氏もまた、何度も小説化ドラマ化されておりますので皆さんもよくご存じのことと思います。鉄道を起点とした都市開発、流通事業や娯楽を一体的に進め相乗効果を上げる私鉄経営モデル原型を独自に作り上げ、阪急百貨店、宝塚歌劇団、東宝として阪急東宝グループを形成しました。その過程で六甲山麓の高級住宅地、関西学院の誘致や温泉、遊園地、野球場及び阪急ブレーブスの経営など、日本最初の田園都市構想を実現しました。これらの経営手法は、のちの東急の五島慶太や、のちの西武の堤康次郎に多くの影響を与えています。また実業界屈指の美術蒐集家、茶人としても知られ集めた美術品の数々は「逸翁（いつおう）コレクション」と呼ばれています。また近代日本料理の創始者、料亭吉兆の湯木貞一とも親交が深く、様々な分野で真贋を見分ける目を持っていましたと思われます。「われ闇せず」の逸話は、事業に関しても真贋を極めている所以であったのかもしれません。ご興味のある方はどうぞご熟読ください。これにて本日の会長報告を終わります。次週は加島銀行の星野行則氏です。

## ★幹事報告：福田幹事

1. 10月1日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので理事・役員の方はご出席下さい。

## ★委員会報告

### ◇クラブ会報・雑誌委員会：中川博之会員

#### 「ロータリーの友9月号の紹介」

P3. 「RI会長メッセージ」 RI会長は、ロータリーの様々な奉仕プログラムの中でも、青少年交換こそが、ロータリー活動に深く傾倒するきっかけになったとのことです。交換留学生のホストファミリーとなり24年間で、43人の学生を受け入れられています。また、サマーキャンプ運営にも関わり、そこで出会ったある高校生の話が掲載されています。その高校生は、RI会長の勧めでロータークトクラブに入会し、イタリア留学の際は現地のクラブに入会し、社会人になっても違うクラブに入会し、いつもロータークトクラブが心の中にあり、自分の価値観をつくっていると記載されています。また、今はロータリークラブにも入会され、ロータークトクラブ会員でもあり、今後はこの2つの世界に橋をかけたいと豊富を語られています。そういうえば、先日の卓話で、ロータークトクラブ重留さんにお話を聞かせて頂きましたが、若い方々に接する際に、ロータークトクラブもそうですが、何かのきっかけになれる、そんな自分になっていけるように、様々な奉仕活動に力をいれていきたいなと感じさせて頂きました。

### P7～11. 基本的教育と識字率向上月間特集

基本的教育と識字率は、海外の問題だと思われていますが、経済協力開発機構の2018年度の国際学習達成度調査では、日本の15歳の若者の読み書き能力は世界15位に低下。

2012年からの3年ごとの調査で低下し続けています。読み、感じ、表わせ、そして選択できるか？その能力獲得のサポートをする国内の3クラブの活動を掲載されています。特に、印象的だったのが日本ロータリーEクラブの取り組みです。なんと、このロータリークラブは北海道から九州、マレーシアまで居住地域が広がっているのですが、例会は全てオンラインで実施されているとの事でした。ですので、そのデジタルに強いという強みを生かして、小学生に対して、SNSの使い方のレクチャーをされています。大人が当然だと思うことでも、それを知らずにSNSを使って事件や事故に巻き込まれるケースがあるとニュースで見かけますが、こうした取り組みを通してSNSを上手に使いこなせるきっかけ作りが大切であると感じました。

今回の紹介は以上となります。

他にも今月号でも、様々な取り組みが紹介されていますので、皆さん是非、ご拝読されて下さいませ。

## ★ニコニコ箱報告：荒山副SAA

川口栄計：木村芳樹大阪南RC会長、本日はロータリーも友地区代表委員としての卓話、宜しくお願ひ致します。

本日の会長経験者会、元会長の皆様よろしくお願ひします。

福田 忠：第一回友好ゴルフコンペ、森友好委員長、清水副委員長、段取り、お世話等ありがとうございました。

徐 正萊：欠席お詫び！

伊藤 仁：友好ゴルフコンペ、川口会長、森友好委員長他、皆様お世話になりました。天候に恵まれ、メンバーに恵まれ、大ハンデに恵まれ、優勝させていただきました。ありがとうございました。

松浦孝尚：友好ゴルフコンペ、森友好委員長、清水副委員長、有難うございました。

森 圭司：友好ゴルフコンペ、ご参加ありがとうございました。清水会員ウィスキーの差し入れ、有難うございました。川口会長お土産有難うございました。

清水一人：友好ゴルフコンペ、お疲れ様でした。川口会長、お土産ありがとうございました。

三島敏宏：木村芳樹様、本日の卓話ありがとうございました。

秋山純也：先日は楽しいゴルフコンペに参加させて頂き、ありがとうございました。

中川博之：森友好委員長、清水副友好委員長、友好ゴルフコンペのとりまとめをありがとうございました。お陰で楽しくラウンドさせて頂けました。又、川口会長、参加メンバー全員に丹波産こしひかりの新米をお土産にプレゼントして下さり、ありがとうございました。

荒山義雄：例会欠席お詫び。

友好委員会：友好ゴルフコンペより。

## ★卓話 テーマ ロータリーの友月間卓話

「変わってはいけないロータリー、  
そして”ロータリーの友”」

卓話者 木村芳樹ロータリーの友地区代表委員  
卓話担当者 三島敏宏委員長

2020年春、新型コロナで世界が止まり、世界のそして日本のロータリーは今まで体験したことのない変化にさらされています。歴史上初めてロータリーの国際大会が中止され、クラブは毎週の例会を連続して開催できず、各事業も中止に追い込まれています。『ロータリーの友』の1920年5月号は発行中止となりました。1953年1月の創刊から連続して発行されていましたが今回の新型コロナでそれが途切れました。変化が避けられないロータリーの今、「変わってはいけないロータリー」をもう一度考え、新しいロータリーを再構築する

機会です。

「なぜロータリーの友を読むのか」それは「ロータリーのロータリアンであるため」です。

ロータリアンである資格は、ロータリアンの三大義務を守っているかどうかです。

一番目の「会費の納入」。これだけではクラブの会員ですが、ロータリアンではありません。

二番目の「例会への出席」。これだけではクラブのロータリアンでロータリーのロータリアンではありません。

では三番目の「ロータリー雑誌の購読」はどうでしょうか。「一ページも読んだことがない」と堂々と発言される会員もたまにおられます。本当にこれでいいのでしょうか。

ロータリーの友の横組みは、『THE ROTARIAN』の中から世界のローアリアンに向けた内容の記事が掲載されており、縦組みには日本国内のロータリークラブに関連した記事が記載されています。

「ロータリーの友をなぜ読むのか」、それは「世界のロータリアンと情報を共有するため」です。

1907年、ポールがシカゴクラブ会長になったとき、拡大をはじめ、最初にサンフランシスコ、次々と新しいクラブができました。この1907年から10年にかけてロータリー最初の危機が起きました。シカゴクラブ内は、ポールたち奉仕派と、親睦派に分裂し、混乱が起きたのです。

1910年の第1回ロータリークラブ連合会大会後の1910年末にポールは反省をこめて「合理的ロータリアニズム」を書きました。このロータリーの情報を共有しようと1911年1月25日にこのエッセイが掲載された機関紙「ザ・ナショナルロータリアン」創刊。これが全世界のロータリアンのコミュニケーションの場であるロータリー雑誌の始まりで、『合理的ロータリアニズム』がこの雑誌を生んだといえます。『THE ROTARIAN』として現在までつづけられています。

1949年、日本のRCはRI第60地区として復帰。1952年4月に大阪市の中央公会堂で第60区最後の大会が開催。この大会で、二地区になってからも連絡を緊密にするための日本語による共通の機関紙の創刊が企画。これが『友』の始まりです。1953年1月から月刊、横組みで創刊。1972年1月から現在の縦組みと横組みに分けた現在の形になり、1980年7月にRI公式地域雑誌に指定されました。

横組みには数多くの有用なシリーズや貴重な文献が多く掲載されてきました。ぜひご活用ください。また友へ投稿し、情報や意見をシェアしてください。ロータリー情報を共有するのはロータリアン1人々の責務です。

ロータリーのロータリアンであるために友を読み続けてください。

